

作成日：令和6年1月19日

数理科学委員会数理統計学分科会
(第26期・第1回)
議事要旨

日時：令和6年1月19日（金）12:30～14:00

会場：オンライン会議（ZOOM）

出席者（50音順、敬称略）：17名

青嶋誠、朝日弓未、荒木由布子、岩田洋佳、川崎能典、小林正人、西郷浩、佐藤忠彦、佐藤美佳、竹村彰通、椿広計、椿美智子、福重元嗣、松井知子、南美穂子、山下智志、渡辺美智子

<配布資料>

資料1：見解「大学における数理・データサイエンス・AI教育の中での統計科学の教育について」令和5年9月26日

資料2：提言：未来の学術振興構想「異分野・社会との連携のための共通言語「データサイエンス」の学際的な研究・教育拠点の形成」令和5年（グランドビジョン⑩⑪）

<参考資料>

第26期 数理科学委員会数理統計学分科会 委員名簿（令和5年12月22日現在）

議事に先立ち、委員の自己紹介がおこなわれた。

議題1. 互選の結果、委員長に青嶋誠、副委員長に松井知子、幹事に南美穂子、佐藤忠彦の各委員が選出された。

議題2. 資料1と資料2を基に、当分科会の役割を確認した上で、第25期に数理統計学分科会から発出された「見解」と「学術の中長期研究戦略」について、説明があった。

議題3. 今期の活動方針について、統計科学の学際的な研究・教育拠点の形成と人材育成について継続的に議論を進め、時期を見て数理・データサイエンス・AI時代における統計科学の教育及び研究についてシンポジウムの開催を前向きに検討することとした。

議題4. 数理科学関係の予算について情報交換を行った。

議題5. メール審議のため、分科会構成員間でのメールアドレス共有を了承した。また、議事要旨は、委員が回覧を行った後、微修正等を含め、最終的な承認については委員長に一任することとした。